

鳥取県中部地区におけるスマート農業社会実装に向けた 共同実証の開始について

西日本電信電話株式会社 鳥取支店（支店長：小川原 秀哉、以下NTT西日本）は、鳥取県中部総合事務所（所長：門脇 誠司）、倉吉市（市長：広田 一恭）、三朝町（町長：松浦 弘幸）、湯梨浜町（町長：宮脇 正道）、琴浦町（町長：福本 まり子）、北栄町（町長：手嶋 俊樹）、鳥取中央農業協同組合（代表理事組合長：栗原 隆政、以下JA鳥取中央）、農林中央金庫 岡山支店（支店長：原田 大輔）と、コンソーシアム型共同研究契約を締結し、鳥取県中部地区におけるスマート農業の社会実装に向けた共同実証を開始します。

1. 背景

鳥取県内における梨生産は、高齢化による担い手の減少及び栽培面積の減少が急速に進んでおり、梨生産を持続可能なものとするためには、生産性向上・品質向上・作業効率化等のためのスマート農業技術の開発・導入が喫緊の課題となっています。

2019年度から2021年度にかけて鳥取市佐治町をフィールドとして実施した「とっとり梨園スマート農業実証事業」では、梨生産のスマート化(データ活用)に一定の効果が見られたことから、社会実装に向け、鳥取県最大の梨の生産地である中部地区において実証実験を実施します。

2. 共同実証の概要

(1) 梨の生産量拡大にむけて

病害虫に起因する梨の廃棄率低下を目的として、実証圃場に気象観測センサーを設置し、取得した気象データをもとに病害虫発生を予測し、防除作業を実施します。実証圃場と対照圃場の病害虫発生程度を比較し、防除作業におけるデータ活用の有用性を検証します。

(2) 営農活動の効率化にむけて

デジタル営農日誌の作成によって梨生産者の営農活動を可視化し、営農活動の効率化を検討します。

3. 主な役割分担

組織	本研究における役割
NTT西日本	<ul style="list-style-type: none">・全体調整・スマート農業社会実装の普及促進・営農活動可視化による効率化検討・実証環境（気象観測システム、デジタル営農日誌）の整備
鳥取県中部総合事務所農林局	<ul style="list-style-type: none">・スマート農業社会実装の普及促進・生産技術指導

倉吉市生活産業部農林課 三朝町農林課 湯梨浜町産業振興課 琴浦町農林水産課 北栄町産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業社会実装の普及促進 ・営農活動可視化による効率化検討
J A鳥取中央	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業社会実装の普及促進 ・生産技術指導 ・収量/品質の調査
農林中央金庫岡山支店	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業導入支援検討 ・営農活動可視化による効率化検討

4. 共同実証期間

2023年3月3日（金）から2025年3月31日（月）まで

5. 実施場所

鳥取県中部地区の5圃場および鳥取県園芸試験場

6. 今後の展開について

本共同実証の結果をふまえて、生産分野におけるデータ活用の知見を梨以外の作物へ展開していくことを検討してまいります。また、梨生産における諸課題の解決、フードバリューチェーンの構築、担い手の確保等、持続的な生産の実現と地域活性化への貢献に取り組んでまいります。

以 上